

- 主題名 SNS 上でのより良いコミュニケーション
- 教材名 「相手の気持ち」を考えよう ～SNS上でのより良いコミュニケーション～
- 人権学習の視点 普遍的な視点「コミュニケーション能力」
- 主題・教材について

中学校でもスマートフォン、タブレットなど、インターネットにつながっている情報端末機器を保有している生徒が増えており、それに伴い、インターネットや SNS を使った友達同士での「コミュニケーション」におけるトラブルが増加している。特に、SNS 上のやりとりでは、相手の発言の意図を考えるための情報（声のトーン、大きさ、表情など）が少なく、また、スピード感のあるやりとりの中で相手の気持ちを考えることが難しくなっている。

本教材では、SNS 上のやりとりの中で、「気になること」や「守るべきルール」を考えることで、自分の発言がもたらすかもしれないトラブルを予測し、より良いコミュニケーションができる力を養いたい。

●ねらい

相手の気持ちを考えたコミュニケーションの在り方の大切さを理解させ、より良いコミュニケーションを行おうとする意欲・態度を身に付けさせる。

●関連する教材

- 人権学習資料集〈小学校編Ⅳ〉「3文字でかいわをしよう」（第2学年用）
- 人権学習資料集〈小学校編Ⅳ〉「4 どう感じるかな」（第5・6学年用）
- 人権学習資料集〈小学校編Ⅳ〉「5 こんな時 あなたならどうする？」（第5・6学年用）

●本時の展開

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	SNS、インターネットの利点は何だろう。				
	○SNS、インターネットの利点を確認させる。 ○本時の学習課題を知らせる。	一斉 一斉	○SNS、インターネットの利点を考える。 ・すぐに友達と連絡がとれる。 ・調べたいことが簡単に調べられる。 ○本時の学習課題を知る。	○SNS、インターネットを活用すれば多くの利点があることを押さえる。	
展開	ケース①～③の「気になること」とその「理由」を考えよう。				
	○ケース①～③の今後の展開を考えさせる。	個別	○ワークシート①の1について考え、記入する。 ケース① 嫌なことを友達に相談している。 ・最後の返信が遅い。 ・明日に先延ばししている。 真剣に受け止めていない印象を与えている。	○ワークシート①の配布前にスライドを使ってケース①～③の状況を把握させる。 ケース① ○すぐに返信ができない状況が相手にはあったのではなかったかを考える必要がある。 ○「先延ばし」ではなく直接会ったときにしっかり聞くという意味かもしれない。	スライド ワークシート①

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
展開			<p>ケース② みんなで撮影した写真をSNSに投稿している。 ・Cくんが見られたくない写真を勝手に掲載した。 ・Cくんのいない所で悪口を言っている。</p> <p>ケース③ 時間割と宿題を友達に聞いている。 ・夜遅い時間に連絡をとっている。 ・相手は寝ていたかもしれない。</p> <p>グループ ○グループで考えを話し合う。</p> <p>一斉 ○グループで出てきた考えを全体で発表する。</p>	<p>ケース② ○SNSやインターネットに写真を掲載する場合には、当事者の許可をとることが必要である。 ○後でCくんが知ったとき、余計に傷つけてしまう。</p> <p>ケース③ ○時間割や宿題は学校で確認すべきである。 ○夜遅い時間帯に連絡のやりとりをするべきではない。 ○グループでの話し合いでは、自分の意見を発言するだけでなく、他の人の意見に対しての自分の考えを発言するように指導する。 ○同じやりとりでも、「気になること」は、人によって違うことに気付かせる。</p>	
			守るべき「ルール」「約束事」を考えてみよう。		
	○守るべき「ルール」「約束事」を考えさせる。	個別	○ワークシート②の2について考え、記入する。	○自分が守るべきと思っているルールが、他の人と意見が違った場合でも、相手の気持ちも考える必要があることにつなげていく。	ワークシート②
	○SNS上でのコミュニケーションの特性を理解させる。	グループ	○グループで、各自が考えた意見を交流し、班の中で「一番大切にすべき」と思うルール・約束事を選び、発表する。	○大切にすべきことの共通点として、「相手のことを考える」ことを押さえる。	
		一斉	○SNS上のコミュニケーションで、気を付けることを知る。	○対面では、表情、声の大きさやトーン、動作など、状況を判断する材料が多いが、文字だけでは、「相手の状況」や「言葉の真意」を読み取ることが難しいことを確認する。	
まとめ	○本時のまとめをさせる。	個別	○本時の学習を振り返り、ワークシートに感想を書く。	○まとめでは、SNSだけでなく、普段のコミュニケーションから相手の気持ちを考えることの重要性にもつなげさせていく。	

●評価

相手の気持ちを考えたコミュニケーションの在り方の大切さを理解し、より良いコミュニケーションを行おうとしているか。

<指導上の留意点>

実施にあたっては、スマートフォン等を所有していない生徒もいることから、所有していることを前提とした展開にならないように留意すること。